

新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム

(若手教員一括採用育成制度)

新潟大学人文社会科学系 助教の公募

新潟大学では、国内外の多様な分野で活躍する優秀な若手研究者が、本学において更に飛躍できるよう、手厚い支援を用意した「新潟大学若手教員スイングバイ・プログラム」制度を設置しました。

この若手教員スイングバイ・プログラムでは、分野を超えて一括公募採用を行い、採用後はそれぞれの専門分野の研究はもとより、分野を超えた融合研究へと展開していくための環境整備や、確実な研究資金獲得のための支援等を行います。

本年度は、以下の研究領域において15名程度の若手研究者の採用・育成をおこないます。採用においては、各分野での専門性を中心とした一次選考、役員による総合的な観点での二次選考を行い、採用者を決定します。採用後は、専門分野に応じた学系等に所属するとともに、若手研究者等の育成・支援を担う研究推進機構に兼務していただき、皆さんの新たな挑戦をサポートします。

本学では、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しており、女性研究者や外国人研究者の活躍推進を行っています。積極的な応募を歓迎します。

公募分野

「神経・生理心理学または司法・犯罪心理学」、「防災、評価等を含む先端的行政技術に関する研究(行政学ないし行政法)」、「経営学(組織行動論)」、「森林保護学」、「カーボンニュートラル技術関連(太陽光発電, 太陽電池, 人工光合成, 水分解, 光触媒, 太陽熱利用)」、「無機・分析化学分野およびその関連分野」、「代数・幾何学(代数幾何, 数論, 微分幾何, 位相幾何とその関連分野)」、「ビッグデータ/情報・AI 関連(データサイエンス, 情報通信, 人間医工学, 人間情報学, バイオメカニクス, 計測工学)」、「植物遺伝育種学」、「エコロジー歯学」、「口腔機能再生医科学」、「先端的な脳病態解析に関する研究」

募集人数

15名程度を予定

本公募はその一環として防災、評価等を含む先端的行政技術に関する研究(行政学ないし行政法)分野担当教員を公募するものです。

1. 募集職種

助教1名(任期の定めなし)

2. 採用予定日

令和5年4月1日以降のできるだけ早い時期

3. 所属

人文社会科学系法学系列

ただし、担当する人文社会科学系法学系列で教育及び研究を行うことを基本としますが、特に研究活動面に関するサポートを受けるため、採用時から3～5年間は研究推進機構に兼務し、本学の若手教員育成プログラムに参加していただきます。

4. 職務内容

[担当学部・研究科] 法学部

[職務内容]

1. 研究 政治学・法学分野。また、新潟大学 ELSI センター（設置準備中）、新潟大学災害・復興科学研究所、または新潟大学アジア連携教育センターと連携し、研究分野の特性を生かした分野横断的な融合研究。
2. 教育 法学部：政策科学概論（2単位）及びご専門に沿った講義・演習科目（2科目程度：英語による講義を含むことがあります）。なお、導入・転換科目を含むオムニバス講義をご担当頂くことがあります。
3. 地域貢献 新潟大学人文社会科学系附置地域政策協働センターの地域連携事業。
[専門分野] 政治学（行政学）または法学（行政法）
[助教の場合の備考] 学部における卒業論文指導、大学院の講義・演習は担当しません。

5. 応募資格

- (1) 原則として、専門分野における博士の学位取得後5年以内の者（採用日までに学位取得見込の者を含む）
 - (2) 防災、評価等を含む先端的行政技術に関する研究を行っていてそれに関連する研究業績のある者
 - (3) 採用後、新潟市又はその近郊に居住し、業務遂行が可能な者
- ※ 分野横断的な共同研究に意欲をもって取り組むことのできる者が望ましい。

6. 雇用条件等

- (1) 勤務地 新潟県新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地
- (2) 給与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程）、その他本学の諸規程による。
- (3) 勤務形態 ・勤務時間：裁量労働制 みなし労働7時間45分
・休日：土・日曜日、祝日、年末年始の休日等
- (4) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
- (5) 個人研究室 有（20m²程度）

7. 若手教員育成支援

採用後には、専門分野を高めると同時に既存分野を超えた新たな展開に挑戦できるように以下のような大学活動の支援を行います。

- ① スタートアップ研究資金（担当する部局での研究費は別途措置）
- ② 全学的な機器共用制度
- ③ 育成プログラム（大学及びURA等による支援）
 - ・科研費等の外部資金獲得サポート
 - ・定期的な異分野交流会への参加
 - ・採用者同期会の運営・参加
 - ・大学での教育方法に関する研修等の受講

- ・キャリアや専門分野を活かした研究推進に係るセミナー等の講師
- ・その他、教育研究活動に必要な研修等の受講 など

8. 応募書類(各1部、A4判)

- (1) 履歴書 紙媒体及び電子ファイル (Word ファイル及び PDF ファイル)
別紙様式4による。紙媒体には写真を貼付すること。電子ファイルについては署名押印および写真貼付は不要
- (2) 教育研究業績書 紙媒体及び電子ファイル (Word ファイル及び PDF ファイル)
別紙様式5-1による。電子ファイルについては署名押印は不要。
- (3) 論文・著書等主要業績 (3点以内) 電子ファイル (PDF ファイル)
博士号取得者については、主要業績に学位論文を含めること。学位取得証明書 (紙媒体) 及び (提出可能であれば) 博士論文の審査概要 (紙媒体及び PDF ファイル) を提出すること。著書など電子ファイルにて提出できないものについては、現物を1部送付して下さい。
- (4) 主要業績を中心とするこれまでの研究業績の概要 (2,000字程度: 電子ファイル (PDF ファイル))
- (5) 今後の研究計画及び教育研究の抱負について (2,000字程度: 電子ファイル (PDF ファイル))

- ※ 別紙様式4、5-1、及び「履歴書・教育研究業績書 (記入要領)」は JREC-IN よりダウンロードしてください。また、記入要領を参考にして記入して下さい。
- ※ 応募書類 (紙媒体) 及び電子ファイルを格納した記憶媒体を封筒に入れ「スイングバイ・プログラム (先端的行政技術) 教員公募応募書類 在中」と朱書の上、簡易書留、レターパックプラスまたは宅配便など受け取り確認ができる方法にて10.に示す送付先にお送りください。送付にあたっては、電子ファイルについては CD・DVD や USB メモリ等の記憶媒体に保存して、同封して下さい。
- ※ 応募書類は記憶媒体を含めて返却しません。著書等の現物については希望があれば返却しますので、返却を希望する場合はその旨を申し出て下さい。着払いにて返送します。
- ※ 応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続により本学が取得した応募者の個人情報、 「個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理し、選考以外に使用しません。
- ※ 必要に応じて、追加書類の提出をお願いする場合があります。

9. 選考スケジュール

- (1) 応募締切: 令和4年9月12日 (月) 17時必着
 - (2) 第1次選考: 令和4年9月中旬～10月初旬 (予定)
書面審査、面接審査 (リモート面接の場合あり)
 - (3) 第1次選考結果通知: 令和4年10月下旬 (予定: 応募者全員に通知します)
 - (4) 第2次選考: 令和4年11月～12月 (予定)
役員による面接審査 (リモート面接の場合あり)
 - (5) 第2次選考結果通知: 決定次第、本人宛通知
- ※ 交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。

10. 提出書類の送付及び問い合わせ先: 問合せは原則として電子メールでお願いします。

- (1) 送付先:
新潟大学人文社会科学系総務課庶務係

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町 8050

Tel. : 025-262-6364 FAX : 025-262-7663

E-mail : js-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

(2) 問い合わせ先：同上

11. 業務内容に関する問い合わせ先：問合せは原則として電子メールでお願いします。

(1) 問い合わせ先

新潟大学法学部長 渡辺 豊

E-mail : js-shomu@adm.niigata-u.ac.jp

12. その他

※新潟大学では、ダイバーシティ推進室（<http://www.niigata-u.ac.jp/geo/>）を設置し、女性研究者支援を推進しています。

※新潟大学では、キャンパス・グローバル化の実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。